

付 録

主要年表

年号	西暦	月	主な出来事
慶応3年	1867		・立花由松、阿部屋（あぶや）の鮭漁場の納屋守として、対雁に移住
明治4年	1871		・対雁村の設置 ・仙台涌谷領から農民21戸対雁に移住
10年	1877		・対雁の樺太アイヌの授産施設“製網所”が設けられる、同所内に“移民教育所”（民設）（現対雁小）を開設
11年	1878		・対雁土人教育所（学務局の直轄）の開設 ・第1次江別屯田兵10戸入地 ・江別村の設置
12年	1879		・対雁移民教育所、独立校舎を設け“対雁学校”と改称
13年	1880		・江別、対雁両村戸長役場の設置（対雁村）
14年	1881		・江別、対雁、篠津の3村共同墓地、対雁に設置 ・篠津村の設置 ・江別、対雁、篠津の3村戸長役場となる ・第1次篠津屯田兵19戸入地
15年	1882		・養蚕室で寺子屋教育始める（旧篠津小）
16年	1883		・幌向村の設置（札幌県告示、対雁戸長所掌） ・開成社、江別太に3戸入植
17年	1884		・第2次江別屯田兵75戸入地
18年	1885		・第3次江別屯田兵43戸入地 ・第2次篠津屯田兵30戸入地 ・第1次野幌屯田兵138戸入地
19年	1886		・戸長役場を対雁から江別村に移す ・第4次江別屯田兵28戸入地 ・第2次野幌屯田兵87戸入地 ・北越殖民社、江別太石狩川畔に10戸（試墾移民）入植 ・第3次篠津屯田兵10戸入地 ・公立江別東学校（旧江別小）、公立江別西学校（現江別第二小）の開校
22年	1889		・公立篠津小学校（旧篠津小）の開校 ・篠津村戸長役場の廃止 ・小野幌、豊幌に最初の移民あり
23年	1890		・北越殖民社集団入植115戸野幌に入る
24年	1891		・大麻に最初の移民あり
25年	1892		・江別町（市街地）尋常小学校の開校
28年	1895		・八幡に最初の移民あり
29年	1896		・篠津村から“新篠津村”分村 ・野幌小学校の開校（明治24年より寺子屋式教育を開始）
30年	1897		・江別大火（市街地130戸のうち約100戸焼失）
31年	1898		・幌向太分教場（現豊幌小）の開設 ・第一原野に簡易教育所（旧江北小）の開所 ・公設江別消防組の創設 ・萩ヶ岡（水源涵養林）より市街地に竹樋で飲料水を供給 ・対雁川下（現中島）に最初の入植あり
32年	1899		・江別尋常高等小学校の開校（江東小と江別町小の合併）
34年	1901		・麻畑簡易教育所（現大麻小）の開所（明治31年に寺子屋式で開始） ・公設野幌消防組の設立 ・幌向村の南6線以北を江別村に編入する
35年	1902		・三原小学校（旧美原小）の開校～簡易小学校
38年	1905		・志分別に簡易教育所を開所（大正5年野幌小に合併）
39年	1906		・二級町村制の施行（江別、篠津、対雁の3村合併し、江別村とする） ・初の村会開催
42年	1909		・一級町村制の施行
大正2年	1913		・小野幌の一部、白石村に編入
5年	1916		・江別町となる（町制施行）、人口16,732人、戸数2,389戸
7年	1918		・小野幌の一部（大正2年移管の残余）白石村に編入
8年	1919		・公立西角山小学校（旧角山小）の開校
9年	1920		・第1回国勢調査の実施（人口18,992人）
13年	1924		・江別紋章制定（現市章）
15年	1926		・町営屠場の開設
昭和3年	1928	6月	・開村50年記念式の開催
4年	1929	4月	・町立江別実科高等女学校の開校（昭和7年、町立北海道江別高等女学校に改称）
		10月	・江別第三尋常小学校（旧江別第三小）の開校（江別尋常小より分離独立）
7年	1932	9月	・8月以来の長雨と集中豪雨で大水害発生
8年	1933	4月	・江別高等女学校、庁立に移管
		9月	・篠津小学校浦篠津分教場（旧八幡小）の開設
10年	1935	4月	・江別町全地域の町名地番改正
15年	1940	4月	・八幡小学校の開校（浦篠津分教場が独立）
17年	1942	6月	・野幌機農学校の開校
20年	1945	7月	・拓北農兵隊33世帯、東京世田谷から入植
22年	1947	5月	・学制改革により江別第一、江別第二、江別第三中学校及び江別第一中美原分校（旧美原中）、江別第二中野

年号	西暦	月	主な出来事
23年	1948	4月	幌分校（現野幌中）、江別第三中篠津分校（旧篠津中）を開校 ・野幌中学校の開校（江別第二中野幌分校が独立）・江別高等女学校を江別高等学校に改編・野幌機農高等学校の開校
		7月	・新野幌小学校の開校
		10月	・開基70周年記念式典の開催
		11月	・美原豊栄開拓入植の開始
		12月	・野幌高等学校の開校（道内唯一の季節定時制農業高等学校）
24年	1949	1月	・初の成人式の開催
		4月	・江別太小学校の開校
		7月	・酪農学園大学部（2年制各種学校）の開校
		8月	・元江別の一部を緑町東1丁目～緑町東4丁目、緑町西1丁目～緑町西3丁目、一番町北1丁目、一番町南1丁目に町名変更
25年	1950	11月	・下の月小学校の開校
		2月	・町役場野幌出張所の開設
		5月	・“町政だより”（広報）の創刊
		6月	・飛鳥山公園野球場オープン
		9月	・第1回町民体育大会の開催
26年	1951	10月	・第7回国勢調査の結果、人口3万人を超える（人口31,647人、5,670世帯）
		3月	・保育所の開設（初の町立保育所“みどり”）
27年	1952	4月	・町立病院の開院（国立からの移管、現市立病院）
		7月	・住民登録法施行による第1回人口調査の実施
28年	1953	11月	・第1回町民文化祭の開催
		5月	・江別大火～市街中心部焼失（227棟、1,305人被災）
29年	1954	7月	・江別市となる（市制施行）、人口34,359人、6,117世帯
		8月	・市制施行記念式典の開催
30年	1955	1月	・江別第三中学校八幡分校（旧八幡中）の開校
		4月	・札幌市との境界一部変更～上福移（角山豊石）を江別に編入、市域面積188.642km ² となる
31年	1956	5月	・上水道創設事業開始
32年	1957	7月	・元野幌の一部を野幌町に町名変更
		8月	・元野幌の一部を野幌町に編入、福移の全部を角山に編入
33年	1958	4月	・酪農学園女子高等学校（現とわの森三愛高等学校）の開校
		8月	・公民館の完成
		9月	・市立江別高等看護学院の開校
34年	1959	11月	・開基80周年、市制施行5周年記念式典の開催
		1月	・除雪事業の開始
		2月	・江別高等学校、校舎の大半を焼失
35年	1960	4月	・篠津の一部を中島に町名変更
		1月	・江別第三中学校角山分校（旧角山中）の開校
36年	1961	4月	・酪農学園大学（国内初の酪農専門大学）の開学
		10月	・江別高等学校新校舎、向ヶ丘に完成
		4月	・江別市総合建設計画スタート・元江別の一部を弥生町、一番町に町名変更
37年	1962	5月	・一番町北1丁目、一番町南1丁目を一番町に編入、元江別の一部を弥生町に編入
		7月	・記録的な集中豪雨で、昭和7年以来の大水害
		12月	・第1回市政功労者表彰
38年	1963	3月	・交通安全都市宣言
		8月	・王子の一部を7条6丁目に編入
39年	1964	10月	・江別屯田兵村記念館の完成（中央公民館に併設）
		12月	・元江別の一部を高砂町、向ヶ丘に町名変更、元野幌の一部を幸町、錦町に町名変更
		1月	・東野幌小学校の開校
		10月	・上江別の一部を東野幌に、元野幌の一部を幸町に、元江別の一部を高砂町に編入

年 号	西 暦	月	主 な 出 来 事
40 年	1965	12 月	・市制施行 10 周年記念式典の開催
			・大麻団地への入居開始 (第 1 期 276 戸)
		2 月	・元野幌の一部を晴美町、南樹町に、大麻の一部を大麻西町、大麻扇町、大麻沢町、大麻宮町、大麻中町、大麻高町、大麻東町、大麻園町に町名変更
41 年	1966	7 月	・第 1 回江別福祉大会の開催
		12 月	・北海道消防学校、札幌から新築移転
		3 月	・新野幌小学校の廃校
		4 月	・北海道女子短期大学の開学 ・下水道 7 か年計画スタート
		10 月	・あかしや保育所の開設
		11 月	・江北中学校の開校 (美原、篠津、八幡の 3 中学校統合)
42 年	1967	12 月	・市役所新庁舎、高砂町に新築移転 ・第二公民館の開館 (野幌公民館の前身)
		12 月	・し尿処理場の完成
43 年	1968	5 月	・江別市旗の制定 ・札幌商科大学 (現札幌学院大学) の開学
		6 月	・江別開基 90 周年、市制施行 15 周年記念式典の開催
		8 月	・町名の字名廃止 ・江北小学校の開校
44 年	1969	9 月	・市役所大麻出張所の開設
		10 月	・市消防本部庁舎、高砂町に新築移転
		11 月	・江別開拓記念像“不死鳥”庁舎前に建立 ・大麻団地人口 1 万人を超える ・野幌屯田兵村記念館の完成
		12 月	・大麻中学校の開校 ・市民憲章の告示
		2 月	・豪雪のため国道 12 号線江別大橋付近で車両約 500 台が立ち往生
		11 月	・大麻東小学校の開校
45 年	1970	12 月	・札幌から道立教育研究所が新築移転
		4 月	・江別太の一部を東光町に町名変更
46 年	1971	10 月	・第 11 回国勢調査の結果、人口 63,762 人、世帯数 17,223 世帯となって伸び率が道内市部で全道一
		5 月	・福祉センターの開設
		6 月	・第 2 期市総合建設計画の策定
		7 月	・江別市勤労青少年体育センター完成
		9 月	・八幡小、篠津小学校に統合
		11 月	・市の花に“菊”、市の木に“ナナカマド”の制定
47 年	1972	12 月	・大麻西小学校の開校
		1 月	・東野幌青少年会館の開設
48 年	1973	11 月	・道内初のゴミ粉碎処理場建設
		3 月	・下水道終末処理場の完成
49 年	1974	5 月	・市民会館オープン
		6 月	・西野幌の一部を文京台に町名変更
		7 月	・北海道農業協同組合学校の開校
		9 月	・若草乳児保育園の開設
		1 月	・大麻公民館の開館
		7 月	・第 1 回農業まつり開催
50 年	1975	8 月	・第 1 回市民まつり開催
		11 月	・元野幌の一部を大麻泉町、大麻栄町、大麻新町に、晴美町を大麻晴美町に、南樹町を大麻南樹町に町名変更
			・第二給食センター (対雁調理場) の完成
51 年	1976	7 月	・東野幌の一部を東野幌本町に、西野幌の一部を野幌若葉町に町名変更、緑町東 1 丁目、緑町東 2 丁目の一部を王子に編入
		10 月	・野幌老人憩の家開設
		12 月	・夜間急病診療所の開設
52 年	1977	11 月	・江別太の一部を東光町に編入し、江別太の一部を朝日町、あけぼの町に町名変更
		1 月	・中央小学校の開校
		3 月	・市営屠畜場の廃止
		5 月	・米国オレゴン州グresham 市と姉妹都市の盟約調印、併せて商工会議所姉妹提携

年号	西暦	月	主な出来事
53年	1978	2月	・弥生保育園の開設
		3月	・対雁、角山、元江別の一部が江栄町に町名変更
		4月	・大麻泉小学校の開校
		5月	・市民体育館の開館
		7月	・江別百年記念式典の開催 ・高知県土佐市と友好都市の盟約調印
54年	1979	3月	・大麻体育館の開館
		4月	・白樺保育所、新築移転 ・大麻東中学校の開校
		11月	・上江別の一部を上江別東町、上江別西町、上江別南町に町名変更
55年	1980	12月	・美原に農村環境改善センター開設
		3月	・下の月小学校の廃校（旧江別小へ統合）
		4月	・野幌中学校の新築移転
		9月	・元野幌と野幌町の一部を野幌松並町、野幌末広町に町名変更、元野幌の一部を野幌住吉町、野幌代々木町に町名変更
56年	1981	10月	・大麻老人憩いの家の開設
		11月	・西野幌に野幌農村環境改善センター開設
		1月	・西野幌の一部を文京台東町に、西野幌と文京台の一部を文京台南町に町名変更
		3月	・市立高等看護学院の廃止 ・“市立病院準用財政再建計画”スタート
		5月	・農村広場オープン
		7月	・東野幌の一部を野幌東町に町名変更
57年	1982	11月	・元江別の一部を牧場町、元町に町名変更、元江別と一番町の一部を若草町に町名変更、対雁の一部を緑町東3丁目、緑町西3丁目に編入
		1月	・角山小、中学校の新校舎完成
		2月	・第1回スノーフェスティバル開催
		4月	・総合社会福祉センターの開設 ・市水道庁舎の開設
		5月	・江別太の一部を豊幌に編入
		7月	・豊幌に防災資材倉庫完成
58年	1983	11月	・元江別の一部を元江別本町に、元野幌の一部を中央町に町名変更、元江別の一部を向ヶ丘に、元野幌の一部を錦町に編入 ・八幡に排水機場完成
		4月	・江陽中学校の開校 ・シルバー人材センターの設立（高齢者事業団の組織改編）
59年	1984	1月	・市立病院、外来棟新築オープン
		2月	・勤労者研修センターオープン
		4月	・野幌若葉小学校の開校 ・大麻高等学校の開校
		8月	・元野幌の一部を大麻北町に町名変更、元野幌の一部を大麻に編入 ・札幌商科大学、大学名を札幌学院大学に改称
60年	1985	11月	・市制施行30周年記念の“ふるさと製品と観光展” “市制30年展”開催
		12月	・麻の実児童センターオープン
		12月	・消防署中央出張所、3条1丁目に新築移転 ・野幌公民館の新築移転
61年	1986	4月	・市“新総合計画”スタート ・大麻の一部を大麻元町に、西野幌の一部を文京台緑町、野幌若葉町に町名変更、西野幌の一部を文京台に編入
		10月	・第14回国勢調査、人口9万人突破（人口90,328人）
		12月	・ランドマーク第1号の設置
		1月	・元江別の一部を見晴台に町名変更
62年	1987	4月	・北光小学校の開校（篠津、江北、美原の3小学校統合）
		7月	・東野幌の一部を東野幌町に町名変更 ・市営森林キャンプ場の完成
		10月	・第1回市展（公募美術展）の開催
		11月	・西野幌の一部を文京台に編入
		12月	・錦町に保健センターオープン
60年	1985	4月	・市“新総合計画”スタート ・大麻の一部を大麻元町に、西野幌の一部を文京台緑町、野幌若葉町に町名変更、西野幌の一部を文京台に編入
		10月	・第14回国勢調査、人口9万人突破（人口90,328人）
		12月	・ランドマーク第1号の設置
61年	1986	1月	・元江別の一部を見晴台に町名変更
		4月	・北光小学校の開校（篠津、江北、美原の3小学校統合）
		7月	・東野幌の一部を東野幌町に町名変更 ・市営森林キャンプ場の完成
		10月	・第1回市展（公募美術展）の開催
		11月	・西野幌の一部を文京台に編入
62年	1987	12月	・錦町に保健センターオープン
		4月	・文京台小学校の開校
		8月	・市有価物リサイクルバンクの開設 ・全国高等学校総合体育大会の3競技を開催
60年	1985	9月	・元野幌の一部を野幌寿町、野幌屯田町、野幌美幸町に町名変更

年 号	西 暦	月	主 な 出 来 事
63 年	1988	11 月	・第 1 回市都市景観賞の表彰式
		4 月	・とわの森三愛高等学校の開校（三愛女子高等学校と酪農学園大学付属高等学校を統合し男女共学化） ・八幡のゴミ最終処分場使用開始
		11 月	・東野幌と西野幌の一部を緑ヶ丘に町名変更、東野幌の一部を東野幌本町に、西野幌の一部を野幌若葉町に編入
平成元年	1989	4 月	・RTN第 1 工区に北海道情報大学の開学
		8 月	・情報図書館の開館
2 年	1990	9 月	・コミュニティセンターと中央公民館オープン ・はまなす国体開催
		10 月	・市営墓地“やすらぎ苑”葬斎場完成
		2 月	・元野幌の一部を中央町、野幌寿町、野幌屯田町、野幌美幸町に編入
		3 月	・大麻体育館の完成
3 年	1991	7 月	・第 1 回やきもの市の開催
		8 月	・“四季のみち”構想スタート
		4 月	・郷土資料館の開館
		6 月	・SCC国際交流センター完成
4 年	1992	8 月	・元江別の一部を見晴台に編入
		11 月	・人口 10 万人を超える（道内 10 番目の 10 万都市）
		4 月	・野幌小学校の特認校制度開始 ・ふれあいワークセンター完成
5 年	1993	8 月	・東野幌の一部と西野幌の一部を緑ヶ丘に編入
		3 月	・市消防本部新庁舎の完成
6 年	1994	4 月	・中央中学校の開校
		11 月	・花き栽培技術指導センターオープン
		4 月	・ガラス工芸館の開館
		7 月	・人口 11 万人を超える
7 年	1995	8 月	・全国中学校選抜体育大会（水泳・バレーボール）開催
		11 月	・セラミックアートセンターオープン
		12 月	・新総合計画後期基本計画“えべつ 21、15 万人都市プラン”策定 ・勤労者総合福祉センター（サンワークえべつ）開館
		2 月	・対雁の一部をいずみ野に町名変更
8 年	1996	3 月	・浄水場の高度浄水処理施設完成
		4 月	・屯田資料館の開館
		8 月	・第 1 回えべつ北海鳴子まつり開催
		1 月	・記録的な大雪－8 日 17 時から 9 日 9 時までの降雪量 63cm
9 年	1997	3 月	・野幌小学校の新校舎完成 ・江別高等学校、向ヶ丘から上江別に新築移転
		4 月	・対雁の一部をいずみ野に編入 ・菰ヶ岡児童センターの開所
		7 月	・江別国際センターオープン ・江別リサーチセンターの開所
10 年	1998	4 月	・いずみ野小学校の開校 ・立命館大学慶祥高等学校の開校
		10 月	・市民文化ホール“えぼあ”オープン、大麻公民館の新築移転
		3 月	・東野幌の一部をあさひが丘に町名変更
11 年	1999	4 月	・森の子児童センターの開所
		7 月	・人口 12 万人を超える
		12 月	・市立病院新築オープン（市立江別総合病院から名称を江別市立病院に改称）
		4 月	・上江別小学校の開校
12 年	2000	6 月	・江別市ホームページの開設
		11 月	・市役所庁舎西棟完成
		4 月	・北海道女子大学、大学名を北海道浅井学園大学と改称し男女共学になる
13 年	2001	10 月	・豊幌の一部を豊幌花園町、豊幌美咲町、豊幌はみんぐ町に町名変更
		12 月	・保健センター、錦町から若草町に移転
		1 月	・子育て支援センター“すくすく”の開所
		2 月	・大麻西地区センター開館

年号	西暦	月	主な出来事
14年	2002	3月	・学校給食センター、中央町から元野幌に新築移転
		10月	・上江別の一部をゆめみ野東町、ゆめみ野南町に町名変更、上江別の一部を上江別東町、上江別南町、朝日町に編入
15年	2003	12月	・八幡の新ゴミ処理施設“くるりん”（環境クリーンセンター）の操業開始
		2月	・江別太の一部を萌えぎ野西、萌えぎ野中央、萌えぎ野東に町名変更
16年	2004	4月	・市アンビシャスプラザの開設
		3月	・第5次市総合計画の策定
17年	2005	9月	・市制施行50周年記念式典の開催
		4月	・北海道浅井学園大学、大学名を浅井学園大学に改称
18年	2006	10月	・大麻の一部を大麻桜木町、大麻ひかり町に町名変更
19年	2007	4月	・浅井学園大学、大学名を北翔大学に改称
20年	2008	10月	・元野幌の一部を新栄台に町名変更
21年	2009	2月	・第5次市総合計画後期基本計画策定
22年	2010	10月	・第19回国勢調査、江別市戦後初の人口減少（人口123,722人）
23年	2011	3月	・東日本大震災発生、被災地へ職員派遣、物的支援を行う（～12月）
25年	2013		・江北中学校の廃校（江別第三中に統合）
		3月	・角山中学校の廃校（中央中に統合）
		8月	・土佐市と友好都市提携35周年記念式典の開催
		11月	・元野幌の一部を大麻泉町に編入
26年	2014	12月	・子育てひろば“ほこあぼこ”オープン
		4月	・第6次市総合計画“えべつ未来づくりビジョン”スタート
		8月	・平和都市宣言
27年	2015	9月	・11日からの集中豪雨（北海道初の“大雨特別警報発令”）の影響による上江別浄水場の取水停止、大規模断水発生
		10月	・市制施行60周年記念式典の開催、市役所前庭に“平和の碑”建立
		3月	・札幌盲学校の廃校（札幌に統合）
28年	2016	7月	・第1回平和のつどい開催
		4月	・江別第一小学校の開校（江別小学校及び江別第三小学校の統合）
29年	2017	11月	・よつば保育園の開設（白樺保育園と若草乳児保育園の統合）
		4月	・健康都市宣言
30年	2018		・都市と農村の交流センター“えみくる”オープン
		10月	・グレンシャム市との姉妹都市提携40周年記念祝賀会開催
		12月	・NOPPORO イルミネーションスタート
31年	2019	3月	・角山小学校の廃校（対雁小学校に統合）
		5月	・複合施設“ゆめちからテラス”オープン
		9月	・台風21号による強風被害発生
令和元年		3月	・野幌駅南口広場の供用開始
2年	2020	11月	・友好都市提携40周年記念 土佐市訪問事業
3年	2021	4月	・新型コロナウイルスにより政府が緊急事態宣言発令
		4月	・道内緊急事態宣言発令
4年	2022		・札幌学院大学、新札幌へ一部学部を移転オープン
		12月	・度々の局地的大雪により市内各地の積雪量が増え、市民生活に影響
6年	2024	1月	・暴風雪により、市内で交通障害、停電などが発生
		2月	・短期集中的な大雪で、江別では観測史上最大の積雪を記録
		4月	・第7次江別市総合計画“えべつ未来づくりビジョン”スタート
			・“第3次江別市男女共同参画基本計画”スタート
		10月	・市制施行70周年記念式典の開催
		11月	・子どもが主役のまち宣言

統計情報の参考になるホームページ

関係機関等・リンク先アドレス (URL)	主な内容
北海道計画局統計課 https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/tuk/	北海道の統計情報。生活・人口・労働・経済などの統計調査データを閲覧できます。
総務省統計局 https://www.stat.go.jp/	日本の統計の中核機関。日本の人口、消費者物価指数、失業率などの最新データほか、各種統計調査、政府の総合統計書など閲覧できます。
政府統計の総合窓口 e-S t a t https://www.e-stat.go.jp/	数字で見る日本。日本の統計が閲覧できる政府統計のポータルサイト。
独立行政法人統計センター https://www.nstac.go.jp/	総務省統計局所管の国勢調査や消費者物価指数など基本となる統計の作成ほか、公的統計の統計データを提供しています。
公益財団法人統計情報研究開発センター https://www.sinfonica.or.jp/	主に総務省統計局が公表等している統計情報を各種デジタルデータ（電磁的記録媒体）として提供（有料）しています。

注) アドレスは令和8年3月現在

令和8年3月 印刷
令和8年3月 発行

江別市統計書

2026年版

発行 江別市企画政策部企画課
北海道江別市高砂町6番地
電話 代表 (011) 382-4141
内線2312・2313
直通 (011) 381-1402

印刷 アスカ印刷

※この統計書は再生紙を使用しています。

定価 1,400円（消費税込み）

